

図書館通信 2025年 11月号

船浦中学校 図書館 NO.29

読書月間、幅広い読書に挑戦できた？

10月1日から始まった読書月間も11月5日で終了しました。が、読書の秋真っ最中です。朝読書やスキマ時間に本をめくる習慣をつけて、お気に入りの本を1冊でも多く見つけてください。先生のおすすめ本やブックトークで紹介された本、1年生のPOPの本などは引き続き図書室で展示します。本を選ぶ時の参考にして下さい。
(裏に読書月間の表彰者と先生のおすすめ本一覧を載せています)



↑ 読書月間エンディング集会でブックトークを実演してくれた2年生のメンバー。テーマは「夢」と「心霊」 各自がテーマにちなんだ本をいろいろな棚から選んで紹介してくれました。他にもブックトークで紹介された本は図書室の窓にポスターで展示されています。ポスターを見て気になった本は読んでみて下さい。

11月の読書目標 郷土に関する本を読もう

演劇を学び、俳優の傍ら、戯曲や詩、小説を書いていた。最初の妻は女優

「モモ」「はてしない物語」は映画化され、世界中で大人気となる

歌舞伎や禅などの日本文化に強く影響を受ける。二度目の妻は自著の翻訳をした日本人女性



16歳の時召集令状を破り捨て逃亡。半ナチス運動の伝令として、ミュンヘンを自転車で駆け回っていた

11月生まれのミヒャエル・エンデ

1929年、ナチスが台頭した頃のドイツで生まれた。国を代表する児童文学作家。「ジム・ボタンの機関車大旅行」「モモ」でドイツ児童文学賞を受賞。ファンタジー的な作品が多いが、児童文学の枠を超え、深い洞察と哲学的な作品が多い。この機会にぜひ読んでみて下さい。



月間多読賞 & 校長先生特別賞



読書月間中最もたくさん本を読んだ人に贈られる
月間多読賞は、2年 仲本あいさん 33冊でした。

今年特別に追加された校長特別賞は、以下の通りです。



チャレンジ賞

色々な棚から本を選び幅広い読書にチャレンジした人です。

2年 ^{なかざとそう た} 仲里奏太さん・2年 ^{よしだわ か} 吉田和花さん



お気に入りを見つけたで賞

読書月間中にお気に入りの本を見つけた人はたくさんいま

したが、読書冊数も考慮して各学年から選ばれました。

1年 ^{まえどまりりゆひ} 前泊琉姫さん・2年 ^{まじやゆ な} 真謝結愛さん・3年 ^{ほりのうちみうみ} 堀之内未海さん



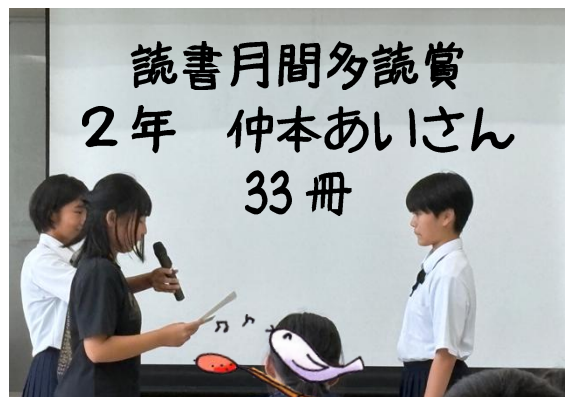
学年多読賞

ひとり平均、最も多く本を読んだ学年は、2年生でした。

合計 128冊、一人平均 8.5冊（素晴らしいです！）

エンディング集会の司会
は ^{しおざわちなみ} 塩澤千波さん。図書委
員長の ^{ひより} 川満日和理さんか
ら表彰状が渡されました

読書月間多読賞
2年 仲本あいさん
33冊



先生のおすすめ本は以下の通りでした

（アイウエオ順、敬称略）

石垣秀樹→「宝島」^{しんどうじゅんじょう}（真藤 順 丈）



系数やすし→「どうせ無理と思っている君へ」^{うえまつとむ}（植松 努）

入嵩西清幸→「フロントライン」^{ますもとじゅん}（増本 淳）

内原政美→「みえるとか みえないとか」^{ヨシタケシンスケ}（ヨシタケシンスケ）

大城拓巳→「置かれた場所で咲きなさい」^{わたなけ}（渡辺和子）

小浜敦子→「ただいま神さま当番」^{あき}（青山美智子）

陶山由美→「フライ・ダディ・フライ」^{かねしろかずき}（金城一紀）

平良未衣菜→「ぐっとくるまんがのセリフ 101」^{あさのあつこ}（あさのあつこ）

富山彩乃→「妖怪アパートの幽雅な日常」^{とみやまあやの}（香月日輪）

仲本英基→「心を整える。」^{はせべまこと}（長谷部 誠）

前津系枝→「株式会社タイムカプセル社」^{きたがわやすし}（喜多川 泰）

宮里 進→「洋上の達人」^{まえやつよし}（前屋 毅）

宮里 錬→「A B 型自分の説明書」^{Jamais Jamais}（Jamais Jamais）

山内徳真→「ひゃくはち」^{はやみかずま}（早見和真）

